

経営管理権集積計画

1 個別事項

整 理 番 号	2020 集6	経営管理権の設定を受ける市町村 (乙)							(名称) 金沢市長 山野 之義			(所在地) 金沢市広坂1丁目1番1号				
		経営管理権を設定する森林の森林所有者 (甲)							(氏名又は名称)			(住所又は所在地)				
乙が経営管理権の設定を受ける森林 (A)										経営管理権の始期	経営管理権の存続期間 (終期) (B)	経営管理権に基づいて行われる経営管理の内容 (C)	木材の販売による収益から伐採等に要する経費を控除してなお利益がある場合において甲に支払われるべき金銭 (D) の額の算定方法	乙が甲にDを支払うべき時期、相手方及び方法	備考	
番号	所 在	地 番	林 班	小 班	地 目	面積 ha	現況樹種	現況林齢								
1	牧山町カ	56	336	124	山林	0.31	スギ	52	公告日	2035.3.31	別添参照	伐採等に要する経費を乙が負担することとし、伐採木を処分して得た利益については乙のもとする。	乙から甲に対して金銭の支払いは行わない。			
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																

2 共通事項

この経営管理権集積計画の定めるところにより設定される経営管理権及び経営管理受益権は、1の個別事項に定めるもののほか、次に定めるところによる。

(1) 経営管理権に基づいて行われる経営管理の内容

乙は、1の個別事項に記載された森林（以下「当該森林」という。）の経営管理のため、1の個別事項に定めるところにより立木の伐採及び伐採木の処分、造林並びに保育（以下「伐採等」という。）を実施する。

(2) 受託者の義務

乙は、自己の財産に対するのと同じの注意義務をもって経営管理を行う義務を負う。

(3) 経営管理権の対象とする森林

当該森林にある立木竹は、甲に帰属する。

(4) 経営管理権及び経営管理受益権の設定

この経営管理権集積計画の公告により、乙に経営管理権が、甲に経営管理受益権（金銭の支払を受ける権利）が、それぞれ設定される。

乙に設定された経営管理権は、この公告の後において当該森林の森林所有者となった者（国その他の森林経営管理法施行規則に定められた者を除く。）

に対しても、その効力があるものとする。

(5) 租税公課の負担等

甲は、経営管理権が設定された森林に対し、自身の土地の境界を保存し固定資産税その他の租税を負担する。

(6) 経営管理権の設定等の条件

① 乙は、甲が次のいずれかに該当する場合には、この経営管理権集積計画のうち当該森林に係る部分を取り消すことができる。

ア 甲が偽りその他不正な手段により乙に経営管理権集積計画を定めさせたことが判明した場合

イ 甲が当該森林に係る権原を有しなくなった場合

ウ 甲が都道府県が公表する「意欲と能力のある林業経営者」（森林経営管理法第36条第2項）へ森林の経営管理の委託等を希望し、かつ林業経営体において本計画以外においても確実に森林の経営管理がなされるとみなされる場合

② 乙は、公用、公共用及び公益事業、災害その他の事由により当該森林において（1）に掲げる事項を実施することが著しく困難となったときは、この経営管理権集積計画のうち当該森林に係る部分を取り消すことができる。

③ 甲は、1の個別事項に定める経営管理権の存続期間の中途において解約しようとする場合は、乙の同意を得るものとする。

④ 甲及び乙は、この経営管理権集積計画に定めるところにより設定される経営管理権に関する事項は変更しないものとする。

(7) 森林への立入り及び施設の利用等

- ① 乙は、本計画に定める行為又は近隣の森林について一体となって経営管理を行うために必要があるときは、当該森林に随時立ち入り、若しくは乙の委託を受ける乙以外の者を立ち入らせ、又は当該森林に設定された路網その他の施設を使用し、若しくは乙の委託を受ける乙以外の者に使用させることができる。
- ② 乙は、本計画に定める行為の実施のため必要があるときは、当該森林内に森林作業道その他の施設を設置し、又は乙が認める乙以外の者に設置させることができる。この場合において、乙、又は乙が認める乙以外の者は、当該設置された施設の維持管理を行うものとする。
- ③ 乙は、当該森林の立木が第三者に対して損害を及ぼすおそれがあると認める場合であって、かつ第三者から当該立木について除去等を行いたい旨の申出がある場合には、第三者が当該立木について除去等を行うことを認めることができる。

(8) 甲への通知

当該森林について伐採等を行う際は事前に甲へ通知するものとし、甲はこれを了承する。

(9) 森林保険

本計画に基づき当該森林について乙により造林等を行った造林木においては、森林保険は付保しない。

(10) 災害等による経営又は管理の不実施

次に掲げる場合において、(1)に掲げる事項を実施する予定の森林について(1)に掲げる事項を実施することが不可能又は不適当になったときは、乙は、当該事項の一部又は全部を実施しないことができる。

- ① 災害その他の原因により当該森林の全部又は一部が損壊したとき
- ② 路網の損壊等により当該森林への到達が困難となったとき
- ③ 当該森林の土地が公用、公共用又は公益事業の用に供されるとき

(11) 経営管理権の存続期間の満了時及び消滅時における清算の方法

経営管理権の存続期間の満了した場合において、甲と乙との間で金銭の支払は生じないとともに、立木の所有権は甲に帰属するものとする。

(12) 甲の通知及び届出

- ① 甲は、当該森林について、第三者に権利を移転若しくは設定する場合には、あらかじめ乙にその旨を通知しなければならない。
- ② 甲及び甲の相続人又は受遺者は、当該森林について権利の喪失があった場合、甲が住所又は名称を変更した場合、甲が死亡した場合その他当該経営管理権集積計画を変更する必要がある場合は遅滞なく乙に申し出るものとする。

(13) その他

この経営管理権集積計画に定めのない事項及びこの経営管理権集積計画に疑義が生じたときは、甲、乙が協議して定める。

別添 経営管理権に基づいて行われる経営管理の内容 (C)

対象森林				経営管理権に基づいて行われる経営管理の内容
所在	地番	林班	小班	
牧山町カ	56	336	124	<p>○ 乙は、存続期間中に間伐、または主伐と主伐後の造林（植栽または天然更新）を実施することとし、森林の有する公益的機能の維持・回復、または森林法その他の法令により定める当該土地が有する機能の維持・回復を図ることとする。なお、施業の実施にあたっては、溪畔林における不必要な伐採は控える等、生物多様性に配慮するものとする。</p> <p>○ 乙は、造林を行う樹種について、伐採前及び周辺の森林の状況、植栽時に入手可能な種苗の苗木等の市場状況、および地域性を考慮して決定することとする。</p> <p>○ 乙は、火災、病虫害及び気象害の予防に努めることとし、林道・作業道等からの目視によって判断できる限りにおいて巡視することとする。</p>